



『社会変革の時代の新しい地方創生』を目指して。
『全ては『Well-beingなまちづくり』への挑戦から』

大河原町長 齋 清志

新年明けましておめでとうございます。コロナ禍、国際紛争による原油・物価高騰、頻発・激甚化する自然災害発生等の厳しい世相が続きました。皆様には穏やかな新春をお迎えのことと存じます。また、日頃の町政への温かいご理解とご協力に対し心より感謝申し上げます次第です。

さて、『地方創生』が叫ばれて10年が経過しましたが、人口減少の抑制、まちの特徴を活かす広域連携での効果等の掲げられた目標については、全国的には十分な成果が得られていないと受け止めています。その理念には大いに賛同するところですが、残念ながら『地方あつての国である。』という価値観が国民の共有する思いとはなっていないように感じています。改めて、町政5期目の負託を重く受け止めながら、国と地方の信頼関係による自主・自立的な施策の展開の重要性を認識するところです。

一方、本町の現状につきましては、人口の自然減が大きくなり、これまでどおりの社会増ではカバーしきれない状況なのが気掛りですが、

今のところ子どもの数・生産年齢人口や税収は堅調に推移しています。また、財政の安定に寄与している『ふるさと寄附金』も25億円前後で維持されており、『Well-beingなまちづくり』につながる町政課題の解決や、厳しさの募る生活弱者や事業所への支援等にも町独自の取組を可能にしているところです。

また、国策に目を向ければ、社会変革の時代を象徴する課題である『デジタル行政改革』への対応が急務となっています。今後の働き手不足や少子高齢化・個人ニーズの多様化・デジタル技術（AI・5G・クラウド等）の進展を踏まえた強靱な行政への転換は待ったなしの課題です。さらに、『新しい地方創生』の基本構想の検討も始まり、農業・観光業の高付加価値化や企業の地方進出の促進、交通サービスの維持向上等、大胆な地域経営につながる取組に期待が生まれています。決して受け身にならないという高い志と覚悟が求められていると認識するところです。

当然ですが、このように社会環境が激しく変

化する現状にあっても、本町が持つ特徴である健康意識の高さに支えられた『元気で長生きなまち』や、学力向上等による『教育のブランド化』『地域ポテンシャルを活かした『賑わいの拠点創出』等の着実な推進を図ってまいります。そして、目標とする『Well-beingなまちづくり』を謳いながら、新たな変革の時代に向けた挑戦的な視点を大切にして、確かな成果に共感が生まれるよう全力投球してまいります。

また、昨年の町長選挙での新しい時代に向けた公約とした、学校給食の無償化（R7年度実施予定）、みやぎ県南中核病院での分娩復活、広域Wi-Fiネットワーク（全町無料）等についても、全て『Well-beingなまちづくり』への挑戦から始まることへの理解の共有が重要です。

結びに、本町の限らない発展と皆様のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。今年も宜しくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には輝かしい令和7年の新春を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

また、日頃より大河原町議会に對しましても深くご理解を賜っておりますことに議会を代表し感謝申し上げます。

まず初めに、昨年7月に起きた不祥事、騒動に關しまして多くの町民の皆さまにご心配をかけましたこと、また全国的に不名誉な議会に貶め（おとし）ましたことに心よりお詫び申し上げます。町民の皆様のためにしっかりと機能する議会の構築、さらに日々改革を進めるべく議会が一丸となって取り組んでおりますことも重ねてご報告申し上げます。また、議会報告会を例年より1か月ほど早い10月半ばに開催し、今回の不祥事の説明と町民の皆様のご意見を賜りました。概ね町民の皆様のご理解は頂きましたが、「説明の時期が遅い」「議会がばらばらでまとまっていないのではないか」「議長に

はしっかりとしてほしい」等、私への厳しいご意見も寄せられましたので、その声に応えるべく新年にあたり真摯（しんしん）に取り組む決意を新たにいたしましたところであります。余計な記述になります

が、全国的に特定の敵を作り出し、徹底的に攻撃するポピュリズムがSNSの匿名性の下で強まったことが背景にあり、断片的な報道がポピュリズムに拍車をかけたことが残念でした。議会もこの流れに侵食されることは避けるべき騒動でした。

さて今年には巳年、60年に1度の乙巳（きのとみ）の年です。蛇は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルとされており、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展する年」と考えられており、千支に習い町民の皆様のを望等にスピード感をもつて柔軟に対応する議会へと変化していきたいと考えております。執行部が唱えるWell-beingなまちづくりにはしっかりと議会の提言を盛り込めるような政策提

言を重ねることが使命であると考えますので、4月の半ばに町議会議員として改選期を迎える私たちの残り4か月間の総仕上げの議会活動にご期待ください。

物価高騰に喘ぐ町民の声、人件費高騰による中小企業経営者の声を議会はしっかりと認識しておりますので対応を急ぎます。

結びになりますが、今年1年がすべての大河原町民が幸福でありますようご祈念するとともに「朝希望と共に目覚め、昼は一生懸命勉強に仕事に励み、夜は感謝と共に眠る」そのような笑顔溢れる日々を送れるようなまちづくりに邁進する所存であります。今年1年大河原町議会にご期待いただきますことをお願い申し上げます。



再び、町民の信頼を得られる議会へ

大河原町議会議員

岡崎 隆

